

- Kono, H. (1937) Neue und wenig beharnte Kafer Japan II: Oedemeridae. Ins. Mats., 13(4): 135-136.
- 黒佐和義 (1956) 皮膚炎の原因となる日本産鞘翅目に関する文献集 衛生動物 Vol.7, No.3/4: 258-264.
- 黒佐和義 (1958) カミキリモドキ類とこれによる被害について 衛生動物 Vol.9, No.3: 130-148.
- 黒佐和義 (1958) アオカミキリモドキの生態について 衛生動物 Vol.9, No.4: 235-244.
- Kurosa, K. (1977) Poisonous Beetles. Animals. med. import. Nansei Islands in Japan. pp.123-131.
- 黒佐和義・渡辺 宏 (1958) アオカミキリモドキの有毒物質について 衛生動物 Vol.9, No.3: 200-201.
- Lewis, G. (1895) On the Cistelidae and other Heteromorous species of Japan. Ann. Mag. Nat. Hist. 6(15): 250-278, 422-448.
- 宮武陸夫 (1985) 原色日本甲虫図鑑(III) pl.68-69, p.401-408 (保育社・大阪).
- 溝田浩二 (1998) 日本産カミキリモドキ分布地図: 文献記録の整理 自然史研究年報 Vol.3: 89-114.
- Nakane, T. (1954) New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions, XI -Oedemeridae- Sci. Rep. Saikyo Univ., 1(4): 33-50.
- 中根猛彦 (1955) 日本の甲虫(29) 新昆虫 Vol.8, No.11/12: 51-55, 156figs.
- 中根猛彦 (1956) 日本の甲虫(30) 新昆虫 Vol.9, No.3: 53-55, 46figs.
- 中根猛彦 (1963) 原色昆虫大図鑑第2巻 pl.129, 130, p.257-260. (北隆館・東京)
- 高橋寿郎 (1962) 兵庫県のカミキリモドキ科 兵庫生物4(3/4): 175-176.

きべりはむしの野外での遅い出現記録
 故高橋寿郎氏遺稿集No. 5
 兵庫昆虫同好会事務局編

きべりはむしの出現期は6月下旬頃からであり、一番多く見られるのは7月、8月上旬であるが、野外でも飼育でも9月に見られることはあまり多くはないものの若干知られている。ところでこの度、内藤隆夫氏がオオキノコムシ調査に赤西溪谷に行かれ

て林床に落ちた枯れ枝にとまっていたきべりはむしを採集しておられる(1999年10月10日)。近くには食草らしきものは見られなかったとのことであるが、この時期、六甲山系より北西の方にあたる赤西溪谷できべりはむしが得られたということは記録としてとどめておかねばと考える。内藤氏の御了解を得てここに報告する次第である。もっとも、10月のきべりはむしの採集記録は三田市小野の聖徳寺の庭でlex.採集というのがある(県立自然系博物館準備室ニュース(2):4,1990)。

10月に野外でというのは大変珍しいと思うが、昨今のように温暖化で10月でも結構暖かい日が多くなってきているようだと出現期も変わってくるかも知れない。(XI.1999)

兵庫県から新記録のオオキノコムシ
 故高橋寿郎氏遺稿集No. 6
 兵庫昆虫同好会事務局編

内藤隆夫氏による赤西溪谷、氷ノ山でのオオキノコムシの調査の結果、兵庫県から新しく記録された種がいくつかある。

兵庫県のファウナに新しく加えられた種をここに紹介する。

Aporotritoma kirishimensis (Araki, 1943) キリシマチビオオキノコムシ 赤西溪谷(1999年9月)。

従来、九州の分布が知られていただけである。

Renaria atrocyarer Lewis, 1887 クロヒラタオキノコムシ 赤西溪谷(1999年10月)。

Tritoma cenchrus (Lewis, 1887) コモンチビオオキノコムシ 赤西溪谷(1999年8~9月)。

Tritoma osawai Nakane, 1981 オオサワチビオオキノコムシ 赤西溪谷、氷ノ山(1999年8~9月)。

Tritoma triparturia (Lewis, 1887) カタバニチビオオキノコ 赤西溪谷(1999年10月)。

Microsternus higonius Lewis, 1887 ヒゴムネビロオオキノコムシ 赤西溪谷(1999年8~9月)。

Microsternus tokioensis Nakane, 1961 トウキョウムネビロオオキノコムシ 赤西溪谷(1999年9月)。

ほかに、*Aporotritoma yasumatsui* (Nakane, 1948) キボシチビオオキノコムシが内藤氏により赤西溪谷から記録されているが、この種はすでに林 靖彦博士等により多紀郡雨石山(現篠山市)からの記録がある(KASUGA, No.11, 1995)。